

地方自治体における情報システム（生活保護）の 標準仕様書作成に向けた調査研究

第1回有識者検討会（2022年5月20日） 事務局資料

第1回有識者検討会 次第

<日時・場所>

令和4年5月20日（金） 14:00～16:00 オンライン開催（Zoom）

<議題>

I. 開会

II. 議事

1. 出席者紹介
2. 令和4年度検討会実施概要の説明
3. 令和3年度の検討の振り返り
4. 生活保護 標準仕様書に係る協議
5. レセプト管理システム 標準仕様書に係る協議
6. 医療扶助 オンライン資格確認の要件に係る共有

III. 閉会

<配布資料>

資料1 第1回有識者検討会 事務局資料（本紙）

資料2 検討会構成員名簿

1. 出席者紹介

資料 2 : 有識者検討会構成員名簿を用いて構成員を紹介

2. 令和4年度検討会実施概要の説明

2. 令和4年度検討会実施概要の説明

共有

2.1. 上半期に予定する検討会

- 令和4年度上半期の検討会においては、6月の意見照会、8月の標準仕様書1.0版公開に向け、検討・協議を実施します（下半期については、検討事項の状況に応じて調整）。

本日

第1回
(5月)

1. 出席者挨拶
2. 令和4年度検討会実施概要の説明
3. 生活保護 標準仕様書に係る協議
4. レセプト管理システム 標準仕様書に係る協議
5. 医療扶助 オンライン資格確認の要件に係る協議
6. 意見交換



第3回
(7月)

1. 意見照会 結果共有
2. 意見照会 反映方針協議
3. 標準仕様書（案）の共有
（照会結果の仮反映版）
4. 検討課題、論点の共有



第2回
(6月)

1. 標準仕様書（案）の共有
 - ・ 生活保護修正版、レセプト管理（新規）
2. 意見照会の実施方針の協議
 - ・ 実施範囲、実施方法、使用資料、質問事項、実施時期、期間 等



➡ 協議結果を踏まえ、意見照会を実施

第4回
(8月)

1. 標準仕様の認識合わせ
 - ・ 生活保護、レセプト管理
2. 検討課題、論点の共有
3. 下期の取組み方針
 - ・ 検討対象（論点）、検討会スケジュール等



➡ 協議結果を踏まえ、1.0版を確定

3. 令和3年度の検討の振り返り

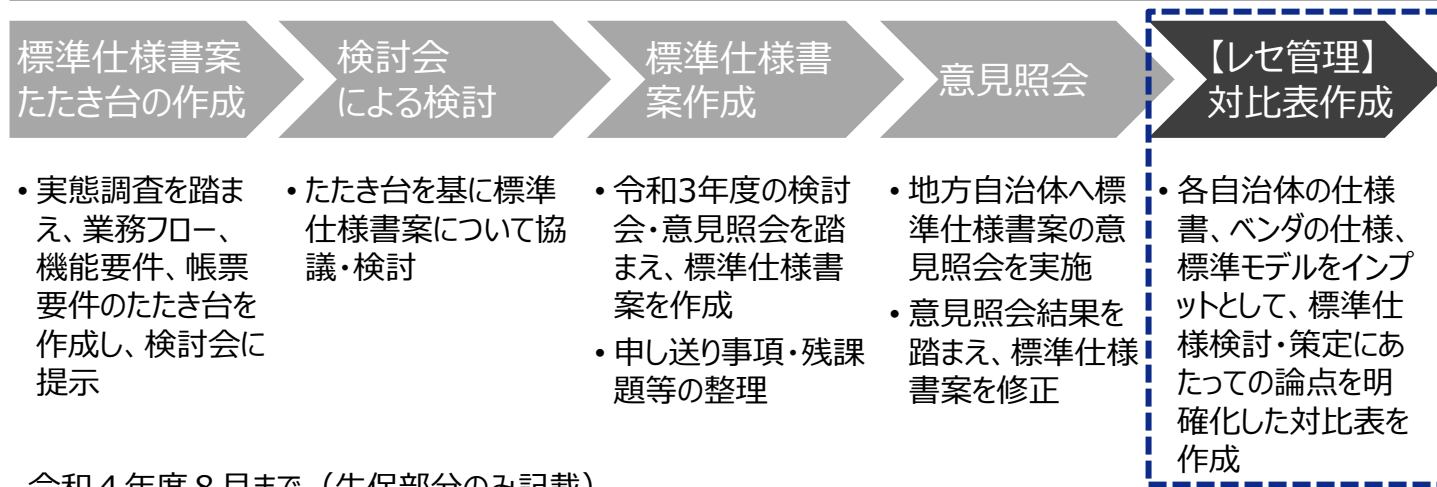


3. 令和3年度の検討の振り返り

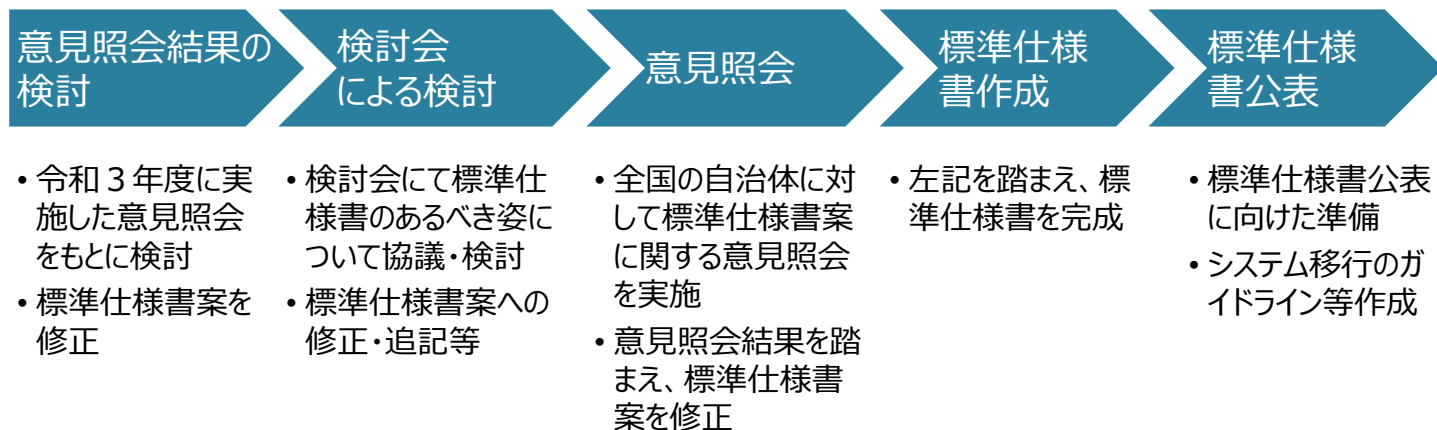
3.1. 令和3年度の作業概要と1.0版作成に向けた作業概要

- 生活保護システムの標準仕様書作成にあたり、令和3年度は標準仕様書案の作成や全国意見照会を実施しました。また、生活保護版レセプト管理システムについては、標準仕様書作成に向けた検討要素の整理を実施しました。
- 今後、昨年度までの検討を踏まえ、令和4年8月の標準仕様書公表に向け、引き続き検討を実施します。

令和3年度



令和4年度8月まで（生保部分のみ記載）






3. 令和3年度の検討の振り返り

3.2. 残課題の整理 (1/3)

共有

- 令和3年度の最終の検討会（第6回）にて整理された残課題は以下のとおりです。
- このうち、対応時期が「1.0版」となっている課題について、優先的に検討します。

【凡例】

-  本検討会にて検討後、標準仕様へ反映
-  他検討を踏まえ標準仕様へ反映
-  対応検討済、標準仕様への反映作業中

課題カテゴリ	残課題	発生契機	対応の方向性	対応時期
1	<ul style="list-style-type: none"> ■ レセプト管理システムの標準仕様書の検討 5章にて詳述 	—	<ul style="list-style-type: none"> ■ 令和3年度は別事業の調査研究の中で検討しており、令和4年度以降検討会で議論予定 	1.0版
2	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「生活保護業務デジタル化による効率化手法開発・検証事業」の結果を踏まえた、RPA等の導入、業務のオンライン化等 	令和3年3月事務連絡	<ul style="list-style-type: none"> ■ 令和4年度以降、令和3年度の取組結果を分析し、業務効率化の効果が見られた取組については反映予定 	令和4年度以降の改訂時
3	<ul style="list-style-type: none"> ■ 医療扶助のオンライン資格確認の導入(令和5年度中)を踏まえた対応 6章にて詳述 	デジタル・ガバメント実行計画	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本年度、別事業の調査研究における検討状況を受領し反映予定 	1.0版(調整中)
4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全国意見照会、第6回検討会を踏まえた標準仕様書の修正 4章にて詳述 	全国意見照会・第6回検討会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 令和4年度以降、検討会の議論を踏まえた修正を実施 	1.0版
5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 介護・障害の仕様書（1.1版）の記載を踏まえた対応 	介護・障害仕様書（1.1版）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 操作権限管理、アクセスログ管理、一括処理時の自動化について、仕様書本編に追加した内容を令和4年度第1回検討会にて付議予定 第2回検討会にて提示に変更 	1.0版
6	<ul style="list-style-type: none"> ■ 第6回検討会で対応方針が決定しなかった論点等に対する対応 	第6回検討会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「指定利用機関等の指定」の機能①の管理項目に下記を追加 <ul style="list-style-type: none"> ・ 機関区分大分類（医療、助産、施術） ・ 機関区分中分類（医科、歯科、調剤、訪問看護、助産師、柔道整復、あん摩マッサージ、はり・きゅう） ■ 標準システムのテスト版やサンプル画面を自治体が確認する機会を設けることの可否の検討 	1.0版 ※2点目は令和4年度以降検討

3. 令和3年度の検討の振り返り

3.2. 残課題の整理 (2/3)

共有

- 残課題の項番10及び11は、現在の検討状況を踏まえ、1.0版への反映に向け資料修正を実施しています（現在作業中）。

【凡例】

- 本検討会にて検討後、標準仕様に反映
- 他検討を踏まえ標準仕様に反映
- 対応検討済、標準仕様への反映作業中




課題カテゴリ	残課題	発生契機	対応の方向性	対応時期
7	■ マイナポータルぴったりサービスとの接続（オンライン申請）を踏まえた対応	デジタル社会の実現に向けた重点計画	■ 制度的な観点を踏まえて検討中	制度面の検討結果を踏まえて要検討
8	■ 転出証明書情報等の活用（引越しワンストップ）を踏まえた対応		■ 生保事務とは関係ないため、対応不要	対応済
9	■ DV等支援対象者に係る抑止情報の利用を踏まえた対応		■ 機能要件に反映済（該当事務：扶養能力調査）	対応済
10	■ 公的給付支給等口座の登録情報の活用		■ 現在の検討状況を受領し、本件に係る変更を反映予定（現在作業中）	1.0版
11	■ 指定医療機関等の指定について令和5年度より届出窓口が厚生局に統一されることを踏まえた対応	分権提案	■ 現在の検討状況を受領し、本件に係る変更を反映予定（現在作業中）	1.0版
12	■ 現状実装されていない機能に対する意見（機能改善・新規機能の要望等）への対応	事前意見照会・全国意見照会	■ 令和4年度以降、バージョンアップの中で追加することを検討	令和4年度以降の改訂時
13	■ 都道府県が設置する福祉事務所における住民記録システム等との連携	情参室指摘	■ 都道府県は住民記録を保有していないため、共通機能の「住民記録システムとの連携」について、誤解を与えないよう、都道府県は除く旨、文言を追加	1.0版

3. 令和3年度の検討の振り返り

3.2. 残課題の整理 (3/3)

共有

■ 残課題の項番17及び18については、デジタル庁より資料を受領しており、現在事務局にて対応を進めています。

【凡例】
 本検討会にて検討後、標準仕様に反映
 他検討を踏まえ標準仕様に反映
 対応検討済、標準仕様への反映作業中

課題カテゴリ	残課題	発生契機	対応の方向性	対応時期
14	■ 外国籍の場合の教示文の切り替え対応	事前意見照会	■ 印字編集条件を精緻化し、1.0版に反映予定	1.0版
15	■ 帳票の詳細要件・レイアウトの追加要望（新規システム化帳票意見も含む）への対応	全国意見照会	■ 各団体から提出いただいたレイアウトを基に追加可否を判断し、令和4年度以降、バージョンアップの中で追加することを検討	令和4年度以降の改訂時
16	■ 帳票詳細要件・レイアウト未定義の帳票への対応	全国意見照会・第6回検討会	■ 内部帳票は介護同様に一覧での対応もしくは、標準化対象外と整理	令和4年度以降の改訂時
17	データ要件（デジタル庁） ■ 機能要件や帳票要件を踏まえ、中間標準レイアウト仕様を拡充して、管理するデータの項目、属性等について整理	—	■ 令和4年度に1.0版に向けて、デジタル庁での検討結果、全国意見照会結果を踏まえ、必要に応じて機能要件、帳票要件を見直し予定	1.0版
18	連携要件（デジタル庁） ■ 機能要件や帳票要件を踏まえ、地域情報プラットフォーム標準仕様を拡充して、他から受け取る又は吐き出すデータの項目、属性等について整理	—	■ 標準化対象の事務については、デジタル庁から提示される機能ID、帳票IDの体系に沿って付与する予定	

4. 生活保護 標準仕様書に係る協議



4. 生活保護 標準仕様書に係る協議

4.1. 1.0版作成に向けた作業整理

- 昨年度の残課題のうち、追加検討が必要と考えている項目は、項番4の意見照会・検討会の結果を踏まえた標準仕様書の修正についてであると考えています。
- 基本的には令和3年度に整理された対応方法を踏襲するものの、見直しが有用な項目が一部散見されましたため、次ページ以降にて確認します。

1.0版作成に向けた作業整理

課題カテゴリ	残課題	対応の方向性
4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全国意見照会、第6回検討会を踏まえた標準仕様書の修正 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 令和4年度以降、検討会の議論を踏まえた修正を実施
5	全般 <ul style="list-style-type: none"> ■ 介護・障害の仕様書（1.1版）の記載を踏まえた対応 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 操作権限管理、アクセスログ管理、一括処理時の自動化について、仕様書本編に追加した内容を令和4年度第1回検討会にて付議予定
6	<ul style="list-style-type: none"> ■ 第6回検討会で対応方針が決定しなかった論点等に対する対応 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「指定利用機関等の指定」の機能①の管理項目に下記を追加 <ul style="list-style-type: none"> ・ 機関区分大分類（医療、助産、施術） ・ 機関区分中分類（医科、歯科、調剤、訪問看護、助産師、柔道整復、あん摩マッサージ、はり・きゅう）
13	機能要件 <ul style="list-style-type: none"> ■ 都道府県が設置する福祉事務所における住民記録システム等との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 都道府県は住民記録を保有していないため、共通機能の「住民記録システムとの連携」について、誤解を与えないよう、都道府県は除く旨、文言を追加
14	帳票詳細要件・レイアウト <ul style="list-style-type: none"> ■ 外国籍の場合の教示文の切り替え対応 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 印字編集条件を精緻化し、1.0版に反映予定

見直し観点を整理後、具体的な箇所について、見直し内容を整理します

4. 生活保護 標準仕様書に係る協議

4.2. 1.0版への反映にあたり再検討が必要な事項

- 昨年度の検討の中で「1.0版へ反映」とされている項目のうち、以下の観点にて整理・分類できる項目については、昨年度に整理した標準仕様書への反映方法（表現、内容等）の見直しが必要と考えています。見直しにあたり、下図に示す観点で整理しています。
- **それぞれの観点にて整理した機能例を次ページ以降に記載しております。その記載を踏まえ、見直しを行う観点として追加・削除が有用な項目があれば教えてください。**

1.0版への反映にあたり再検討が有用と考えられる観点と具体件数

	観点	カテゴリの詳細		該当件数
1	特定の自治体の運用に限定される内容が含まれる	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 特定の自治体でしか使っていない機能や使う頻度が少ないと思われる機能について、追加してほしいと要望があったものがある ✓ 必須/オプションについて検討の余地がある 	自治体規模に起因	2
2			自治体特有の業務に起因	38
3	自治体意見の趣旨に適切に対応していない	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自治体から届いた意見に対して、対応方針が対応しておらず、解決にならないと考えられるものである ✓ 用語の定義が不十分であることが一因と思われるものも多い 	用語の定義が不十分	3
4			自治体の要望の趣旨くみ取りが不十分	17
5	その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 他で回答している対応方針と矛盾しているものである ✓ 対応方針と対応区分が相互に矛盾しているものもあった 	他の対応方針と矛盾している	10
6			<ul style="list-style-type: none"> ✓ 対応方針内の記述に誤字や誤りについての修正が必要 ✓ 修正後は、別のカテゴリに統合予定の内容である 	対応方針に誤字や誤りがあるため見直しが必要である

4. 生活保護 標準仕様書に係る協議

4.3. 1.0版への反映にあたり再検討が必要な事項 例示 (1/3)

- 前ページに示した観点ごとに整理した機能について、具体例を以下に示します。

各カテゴリーでの見直し例 (1/3)

観点	意見照会・検討会結果等からの意見	昨年度末の対応方法	見直し後の対応方法	
特定の自治体の運用に限定される内容が含まれる	自治体規模に起因	【機-0681】 受給世帯数の多い自治体においては個々に変更処理を行うことは、多くの時間を費やすことになるため年度の変更のタイミングで一括で変更する機能を追加してほしい。	必須機能として追加 「一括で手当改定の認定を行えること」	自治体規模により差異があると思われるため、必須ではなくオプションとして反映する
	自治体特有の業務に起因	【機-1753】 「業者払の支給額について、日付を期間で指定し一覧で確認できること。」と要件追加いただきたい。月ごとにしか抽出されない仕様になると、業者からの問い合わせなどに対応できなくなるため。	必須機能として追加 「業者払の支給額について、日付を期間で指定し一覧で確認できること。」	「一覧で確認する機能」は自治体により要/不要が分かれると思われるため、必須かオプションかの意見照会を行う
	【機-1359】 介護保険制度において実施している作業にかかわる帳票について、削除してほしい。	当該機能を削除	当該機能については、必須化を求める意見がある等、自治体ごとに運用が異なっており、対応について意見照会を行う	
	【詳-012】 帳票「収入申告書」に地区の記載を追加してほしい。	オプションとして追加	自治体に固有の事由であり、利便性の向上の域を出ないという懸念があるため、再度検討する	

4. 生活保護 標準仕様書に係る協議

4.3. 1.0版への反映にあたり再検討が必要な事項 例示 (2/3)

■ (前ページの続き)

各カテゴリーでの見直し例 (2/3)

観点	意見照会・検討会結果等からの意見	昨年度末の対応方法	見直し後の対応方法	
自治体意見の趣旨に適切に対応していない	<p>用語の定義が不十分</p>	<p>【機-1813】 折衝記録は、債務者に対して管理することが望ましい。</p>	<p>ケース記録に対し、「折衝記録を登録・修正・削除・照会できること」を追加</p>	<p>ケース記録に折衝記録を入れる対応でよいのかについて、意見照会を行う</p>
		<p>【機-1872】 「債権ごとに交渉記録を登録・修正・削除・照会できること。」と要件に追加するべきだと考える。</p>	<p>債務書登録の管理項目に以下をオプションとして追加 ・ケース記録</p>	<p>「折衝記録」と「交渉記録」は同一の記録を指すと思われるため、どちらに統一すべきか意見照会を行う</p>
	自治体の要望の趣旨くみ取りが不十分	<p>【機-1810】 債権管理上、相続人や法定代理人への通知は必須のため、必須機能としていいと考える。</p>	<p>ご意見を踏まえ、以下の管理項目をオプションとして追加する。 ・連帯債務者氏名 等 ・法定代理人氏名 等</p>	<p>相続人への通知機能についても、追加が適切か意見照会を行う</p>
		<p>【機-0827】 保護の停止と支給停止は別で考えるものではないか。(保護決定処理への記載も必要ではないか)</p>	<p>「保護停止・廃止」の機能としては削除し、「保護開始の要否判定及び処分」「保護変更」の機能として追加</p>	<p>対応方針が要望の趣旨をくみ取れているか意見照会を行う</p>

4. 生活保護 標準仕様書に係る協議

4.3. 1.0版への反映にあたり再検討が必要な事項 例示 (3/3)

■ (前ページの続き)

各カテゴリでの見直し例 (3/3)

観点	意見照会・検討会結果等からの意見	昨年度末の対応方法	見直し後の対応方法
その他	他の対応方針と矛盾している	必須機能として追加	下記の対応方針に変更 「他業務の要件との整合について、今後デジタル庁の整理状況を踏まえ整理する。」
	【機-2201】 障害者福祉システムに合わせ、実装オプションにしたほうがよいのではないか。 障害者福祉システムと連携し、障害者福祉情報（身体・精神障害者手帳情報を含む）を生活保護システムで利用できること。		
	対応方針に誤字や誤りがあるため見直しが必要である	意見のとおり修正	「指定期間」ではなく、「指定機関」であるため、原案のとおりとする
	【機-1392】 生活保護法指定機関外ではなく、生活保護法指定期間外ではないか。		
	【機-0007】 保護を必要とする方の情報以外にも、「相談に來所した方」「保護を要すると思われる世帯員」など、様々な条件で検索できるようにしてほしい。	意見のとおり修正 ①相談者、要保護者の情報に基づいて、過去の相談歴、保護歴の検索ができること。	下記のように修正することの是非について意見照会を行う ①相談者（要保護者のほか、要保護者に関する相談者を含む）の情報に基づいて、過去の相談歴、保護歴の検索ができること

4. 生活保護 標準仕様書に係る協議

4.4. 見直し方法の確認事項及び確認手順

- 前ページの観点にて、一部項目の対応方針を見直しています。
- 本件について、別添のExcelファイルをご確認いただき、**対応方針案として記載している内容をご確認**お願いします。

Excelの確認方法

対象ファイル：03_全国意見照会結果反映方法_見直し要件_20220516_2.xlsx

昨年度検討済み			今年度新たに検討する部分				
A	B	C	S	T	U	V	W
管理 ①回答元 記入			対応方針	カテゴリー	見直し後の対応方針案	【自治体回答欄】 ご意見の有無	【自治体回答欄】 V列で「意見あり」の場合： ご意見詳細
機-1056	27	松山市	ご意見のとおり追加する。	対応方針に誤字や誤りがあるため見直しが必要である	CWと医療担当の入力・出力の負担を機能として定義する必要があるか意見照会を行う	意見なし	
機-1117	30	福岡県	ご意見のとおり追加する。	自治体特有の業務に起因	自治体規模による問題と思われるため、必須かオプションかの意見照会を行う	意見あり	当自治体においても、発券する医療券／調剤券の枚数が非常に多いため本機能は必要である。

確認事項及び確認手順

昨年度検討会及び全国意見照会でいただいた意見の集計表をもとに、見直しが必要と思われる部分を整理しました。見直し内容について、カテゴリー別の整理と対応方針案の策定を行いました。下記の流れに沿って、**対応方針案の内容について、ご確認をお願いします。**

- ① 昨年度の検討内容を確認する（上記においてはA列～S列）
- ② 見直し後の対応方針案（上図においてはU列）を確認する
- ③ 【自治体回答欄】の記載がある列に（上図においてはV～W列）、「照会事項への回答」「認識齟齬や違和感のあるものについての意見」等を記載する

4. 生活保護 標準仕様書に係る協議

4.5. 標準仕様書の作成単位に係る検討状況

- 生活保護業務の標準仕様書として、生活保護システムとレセプト管理システムについての取りまとめを進めています。
- 生活保護業務における標準仕様書の構成については、自治体や各システム事業者の状況を踏まえ以下の2パターンにて整理を進めている状況であり、今後関係省庁等と調整し、1.0版の検討に合わせ、本件を決定する予定です。

標準仕様書の作成単位

パターン	1つの仕様書、機能群は選択可	別の仕様書として作成													
構成イメージ	<p style="text-align: center;"><u>生活保護標準仕様</u></p> <p>標準仕様書 -本編-</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>生活保護</th> <th>レセ管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2章（業務フロー・ツリー図）</td> <td>2章（業務フロー・ツリー図）</td> </tr> <tr> <td>3章（機能要件）</td> <td>3章（機能要件）</td> </tr> <tr> <td>4章（帳票要件）</td> <td>4章（帳票要件）</td> </tr> <tr> <td>5章（データ要件/連携要件/非機能）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6章（用語）</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	生活保護	レセ管	2章（業務フロー・ツリー図）	2章（業務フロー・ツリー図）	3章（機能要件）	3章（機能要件）	4章（帳票要件）	4章（帳票要件）	5章（データ要件/連携要件/非機能）		6章（用語）		<p style="text-align: center;"><u>生活保護標準仕様</u></p> <p>標準仕様書 -本編-</p> <p>2章（業務フロー・ツリー図）</p> <p>3章（機能要件）</p> <p>4章（帳票要件）</p> <p>5章（データ要件/連携要件/非機能）</p> <p>6章（用語）</p>	<p style="text-align: center;"><u>レセ管標準仕様</u></p> <p>標準仕様書 -本編-</p> <p>2章（業務フロー・ツリー図）</p> <p>3章（機能要件）</p> <p>4章（帳票要件）</p> <p>5章（データ要件/連携要件/非機能）</p> <p>6章（用語）</p>
	生活保護	レセ管													
2章（業務フロー・ツリー図）	2章（業務フロー・ツリー図）														
3章（機能要件）	3章（機能要件）														
4章（帳票要件）	4章（帳票要件）														
5章（データ要件/連携要件/非機能）															
6章（用語）															
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 生活保護業務の標準仕様書のうち、共通部分の一元的な検討・管理が可能 生保システムで一部レセ管機能を実現している自治体・事業者は実態にあった検討が可能 他の標準仕様検討と異なる構成での標準仕様書になるため、デジタル庁への確認が必要 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの仕様書を個別管理しなければならないため、管理が煩雑 生保システム、レセ管システムの現在の市場動向に合っており、事業者対応が容易 自治体側で利用する担当者（ケースワーカー、医療担当係）が分かれて管理されることが多いことから、自治体側に違和感が少ない 													

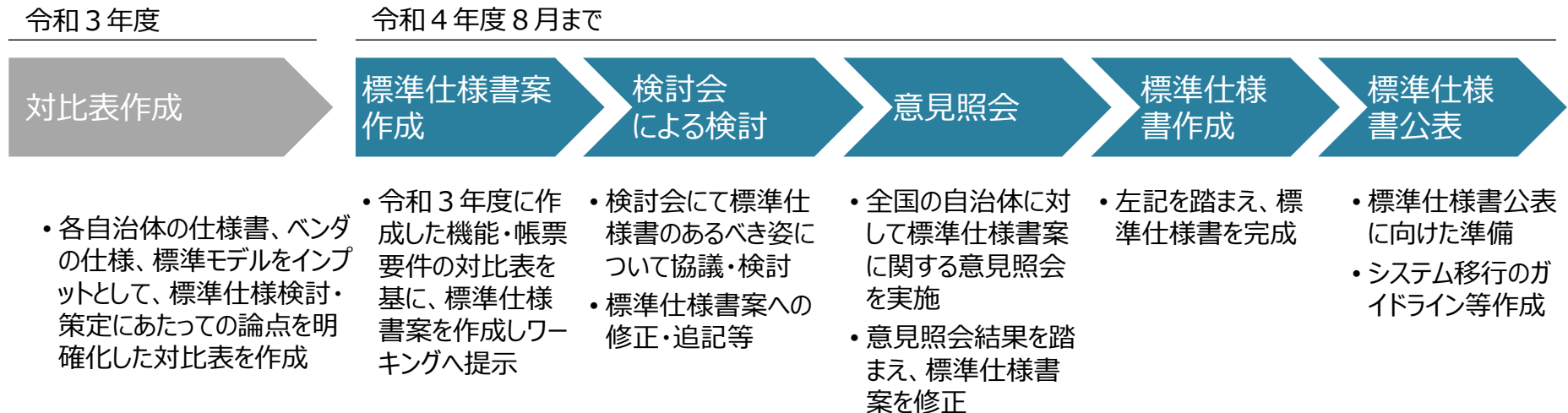
5. レセプト管理システム 標準仕様書に係る協議



5. レセプト管理システム 標準仕様書に係る協議

5.1. 昨年度までの整理状況と1.0版作成に向けた作業概要

- レセプト管理システムの標準仕様書作成にあたり、令和3年度は、検討論点の整理として、レセプト管理システム構築事業者の資料をもとに、機能・帳票の比較表を作成しました。また、当該システムを使用している自治体に対しヒアリングを実施し、現行運用上の懸念点や課題等をまとめています。
- 本件を踏まえ、令和4年度は、生活保護システムと同様に標準仕様書案を作成し、検討や全国意見照会を進め、令和4年8月の標準仕様書公表に向け作業を進めます。



5. レセプト管理システム 標準仕様書に係る協議

5.2. 機能要件、帳票要件の整理方針（基本的な考え方）

- レセプト管理システムの標準仕様における必須／オプション／対象外の整理について、原則、制度や自治体・事業者の意向等を踏まえて、判断することとしたいと考えています（特段の事情がある場合、当該事情を加味した整理（オプション→必須など）を実施）。なお、自治体意向については全国意見照会時に意見を収集します。
- 次ページに示す機能例を踏まえ、以下の分類や必須／オプション／対象外の考え方で、分類として不足している点や整理の上で注意すべき事項等について、皆様の意見を収集します。

整理方針（必須・オプションの考え方）（案）

分類	制度の観点	自治体意向の観点	事業者意向の観点	基本的な整理方針
全自治体での実装が必要／有用である	全自治体で実施／必要と定義している	<ul style="list-style-type: none"> ・大小様々な規模の自治体が必要と回答 ・必要と回答した団体がおおむね過半数 	<ul style="list-style-type: none"> ・大小様々な規模の事業者が機能を保有 ・機能を保有と回答した事業者がおおむね過半数 	原則、必須機能
団体規模によりニーズ／必要性が異なる	特定の自治体（都道府県、政令市等）に対してのみ必要と定義している	<ul style="list-style-type: none"> ・大小どちらかの規模の自治体が必要と回答 ・必要と回答した団体がおおむね過半数 	・－	原則、オプション機能
制度上、必須としていない	自治体対応が異なることを前提としている（または特段の定義なし）	<ul style="list-style-type: none"> ・必要と回答した団体がおおむね過半数 	・－	原則、オプション機能
自治体でのシステム化不要	自治体対応が異なることを前提としている（または特段の定義なし）	<ul style="list-style-type: none"> ・必要と回答した団体がおおむね過半数に達しない 	<ul style="list-style-type: none"> ・機能を保有と回答した事業者がおおむね過半数に達しない 	原則、標準化対象外

5. レセプト管理システム 標準仕様書に係る協議

5.3. 機能要件、帳票要件の整理イメージ（概観）

■ 前述の分類にて整理する際に論点となる機能は以下のとおりです。

各要件の振り分けイメージ（概観）

	整理方針	①分析関連の機能・帳票	②健康管理支援機能	③事業者間で差異
必須機能	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 全自治体での実装が必要／有用である 	<ul style="list-style-type: none"> 傷病毎実数・割合表 重複受診者名簿 医療費増減構成要素分析 「集計表(傷病別/年度別 等) 処方箋発行一覧 診療報酬明細書等状況報告用基礎データ 	<ul style="list-style-type: none"> 投薬情報管理 健診結果管理（調整中） 	<ul style="list-style-type: none"> 適用情報直接入力 レセプト情報手動返付登録 原本管理（システムで管理している帳票の出力時の副本表示） 再審査請求結果一覧 オンライン再審査請求エラー確認 帳票一覧表示
オプション機能	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 団体規模によりニーズ／必要性が異なる ✓ 制度上、必須としていない 	<ul style="list-style-type: none"> 高額医療費リスト 後発医薬品切替促進一覧（後発品全明細等） 後発医薬品利用促進通知書 実施体制状況報告用基礎データ 生活習慣病重症化予防指導対象候補者一覧 	<ul style="list-style-type: none"> 健康指導対象者検索 健康指導内容管理 特定医療切替可能対象者一覧 	<ul style="list-style-type: none"> 再審査請求結果一括処理機能 レセプト点検状況進捗確認 資格審査エラーリスト レセプト自動点検 自動点検予約 レセプト帳票作成予約 レセプト取込結果一覧印刷
標準化対象外	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自治体でのシステム化不要 	<ul style="list-style-type: none"> 地域別月次分布（金額・事業所等） 	<ul style="list-style-type: none"> データヘルス分析集 	<ul style="list-style-type: none"> 点検実施体制状況（帳票）

5. レセプト管理システム 標準仕様書に係る協議

5.4. 機能要件、帳票要件の確認（依頼）

■ レセプト管理システムの仕様について、以下2点のご確認をお願いできますでしょうか。

- ① 標準仕様として整理しています機能・帳票全般について、ご指摘等がありましたらお願いします。
- ② 前ページの観点に沿って機能・帳票要件の必須・オプションを振り分けていますが、内容について認識齟齬がありましたらご指摘をお願いします。

Excelの確認方法

対象ファイル：04-1_レセプト管理システム_標準仕様（機能要件）_20220516_1.xlsx

比較表_機能要件				
#	ツリー構成			
	業務	事務	作業	処理分類
2	生活保護等 版レセプト管理	データ管理	データ取込	-
10	生活保護等 版レセプト管理	データ管理	データ取込	一括処理

論点・留意点	整理対象	ppcに合わせて分類化 1:分類関連機能/帳票 2:帳票管理支援関連 3:その他	3:業者間の差異	(ペナタ標準) オプション	<判定>	【自治体回答欄】 ご意見の有無	【自治体回答欄】 AF列で「意見あり」の場合： ご意見詳細
イレギュラーケースではあるが、レセプトデータの直接登録を必要とする場面が考えられる（保険者懸調整の対応等）ため、情報整理のうえ、標準仕様に含めるか、検討が必要。	<input type="radio"/>	3:その他	差異あり	標準	3:業者間の差異 必須機能	意見あり	例) 当自治体では直接入力を行うことはないため、不要な機能である。よってオプションまたは対象外として整理すべきである。
事業者によっては、左記要件はカスタマイズ対応している。利用状況を把握し、標準化の必要性を検討する必要あり。	<input type="radio"/>	3:その他	差異あり	オプション	3:業者間の差異 オプション機能	意見なし	

確認事項及び確認手順

前ページの観点に沿って、論点となる機能・帳票要件について、必須/オプション/対象外の整理を行っています。下記の流れに沿って内容のご確認とご意見の記載をお願いいたします。

- ① 要件の内容と構成を確認する（上記においてはA列～Z列）
- ② 機能/帳票要件の分類結果を確認する（上図においてはAA列～AE列）
- ③ 【自治体回答欄】の記載がある列に（上図においてはAF～AG列）、認識齟齬や違和感のあるものについて意見を記載する

6. 医療扶助 オンライン資格確認の要件に係る共有

6. 医療扶助 オンライン資格確認の要件に係る共有

6.1. 1.0版作成に向けた検討事項

- 医療扶助のオンライン資格確認（以下、オン資）の検討内容について、標準仕様書1.0版への反映を予定していません。
- 標準仕様書1.0版への反映にあたり、「被保護者の健診データの取り扱いに係る管理（運用・データ項目）」「反映方法」の2点について、現在整理を進めています。

医療扶助 オンライン資格確認の要件反映に係る検討事項

被保護者の健診データの取り扱いに係る整理		1.0版への反映方法
健診データの管理に係る運用	健診データの項目	添付パターン
<p>【状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 医療扶助オンライン資格確認で検討されている運用では、健診データを生活保護システム（またはレセプト管理システム）で管理することを想定されている <p>【今後の標準化における対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 上記運用となった際、現在の自治体側の運用にどのような変更があるかを確認 <p style="text-align: right;">オン資検討にて整理中</p>	<p>【状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 左記運用であることから、生活保護システムで医療扶助オンライン資格確認で必要としている項目を管理する必要がある <p>【今後の標準化における対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 健診データとして生活保護システム又はレセプト管理システムで管理されている場合のデータ項目と医療扶助オンライン資格確認側で想定している項目の差分を確認 ✓ 一致していない場合、追加を検討 <p style="text-align: right;">オン資検討にて整理中</p>	<p>【状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 現在の予定では、1.0版作成までの期間に確定する情報が得られないことが想定されている（8月に完成版）ため、暫定の情報にて反映させる必要がある <p>【今後の標準化における対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 仕様書へどのような記載で反映するか <p style="text-align: right;">6.3にて詳述</p>

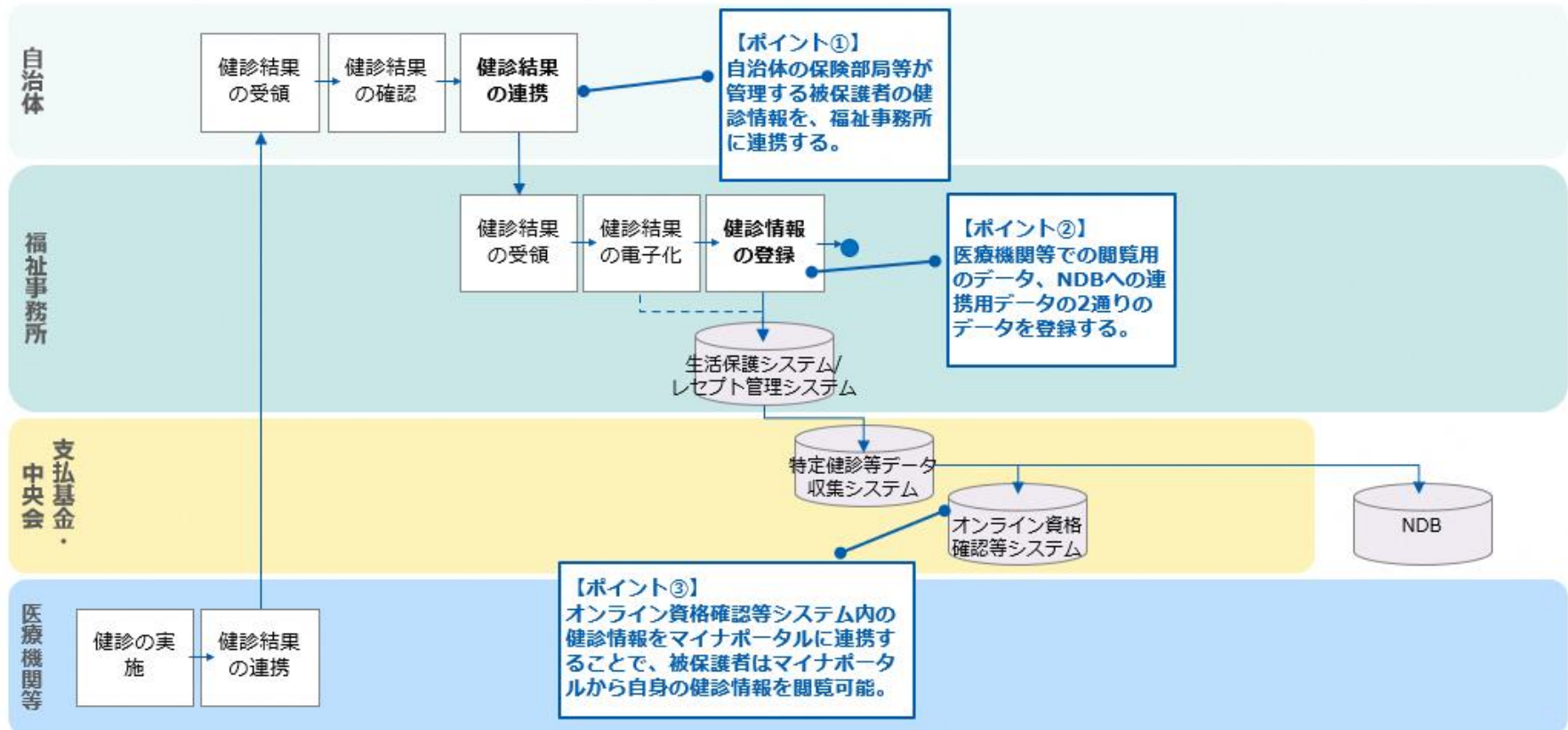
6. 医療扶助 オンライン資格確認の要件に係る共有

6.2. 標準仕様への反映内容の検討状況の共有

- オン資に係る要件の生活保護システム／レセプト管理システムへの反映についての検討状況を共有します。
 - ▶ オン資に係る健診データの登録に係る運用の整理は以下のとおりです。

オン資検討状況共有（報告資料より抜粋）

健診情報の登録のフロー



6. 医療扶助 オンライン資格確認の要件に係る共有

6.3. 標準仕様への要件反映イメージ

- 標準仕様におけるオン資の要件の反映については、医療扶助オンライン資格確認の要件が確定する時期を踏まえ、以下のパターンにて標準仕様書への反映を検討しています。

医療扶助 オンライン資格確認の要件反映イメージ（現在整理中）

	パターン	特徴	反映イメージ																
パターン ①	機能要件等に6月時点の決定内容を踏まえ記載	<ul style="list-style-type: none"> ○：自治体・ベンダーが要件定義・開発を進める際に多くの情報を得られる △：仕様変更の可能性あり 	<p style="text-align: center;">機能要件・データ項目、連携要件に記載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <tr> <td style="width: 10%;">生活保護共通</td> <td style="width: 10%;">他システム連携</td> <td style="width: 50%;">医療扶助 オンライン資格確認システムへ送る資格情報（※）を作成し、連携できること。 （※）連携する資格情報 氏名、氏名（カナ）、性別、生年月日、居住地（住所、郵便番号）、加入者区分コード、実施機関名（福祉事務所名）、公費負担者番号、受給者番号、資格取得年月日（保護開始日）</td> <td style="width: 30%;">○月時点の情報にて記載</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>医療扶助 オンライン資格確認システムへ送る医療券・調剤券情報（※）を作成し、連携できること。 （※）連携する医療券・調剤券情報 氏名、公費負担者番号、受給者番号、有効開始年月日、有効終了年月日、指定医療機関名（医療機関コード）、優待名、診療別、併用/単独の別、本人支払額</td> <td>○月時点の情報にて記載 資格情報との重複を避ける予定</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>医療扶助 オンライン資格確認システムへ送る健診情報（※）を作成し、連携できること</td> <td>○月時点の情報にて記載</td> </tr> </table>	生活保護共通	他システム連携	医療扶助 オンライン資格確認システムへ送る資格情報（※）を作成し、連携できること。 （※）連携する資格情報 氏名、氏名（カナ）、性別、生年月日、居住地（住所、郵便番号）、加入者区分コード、実施機関名（福祉事務所名）、公費負担者番号、受給者番号、資格取得年月日（保護開始日）	○月時点の情報にて記載			医療扶助 オンライン資格確認システムへ送る医療券・調剤券情報（※）を作成し、連携できること。 （※）連携する医療券・調剤券情報 氏名、公費負担者番号、受給者番号、有効開始年月日、有効終了年月日、指定医療機関名（医療機関コード）、優待名、診療別、併用/単独の別、本人支払額	○月時点の情報にて記載 資格情報との重複を避ける予定			医療扶助 オンライン資格確認システムへ送る健診情報（※）を作成し、連携できること	○月時点の情報にて記載				
生活保護共通	他システム連携	医療扶助 オンライン資格確認システムへ送る資格情報（※）を作成し、連携できること。 （※）連携する資格情報 氏名、氏名（カナ）、性別、生年月日、居住地（住所、郵便番号）、加入者区分コード、実施機関名（福祉事務所名）、公費負担者番号、受給者番号、資格取得年月日（保護開始日）	○月時点の情報にて記載																
		医療扶助 オンライン資格確認システムへ送る医療券・調剤券情報（※）を作成し、連携できること。 （※）連携する医療券・調剤券情報 氏名、公費負担者番号、受給者番号、有効開始年月日、有効終了年月日、指定医療機関名（医療機関コード）、優待名、診療別、併用/単独の別、本人支払額	○月時点の情報にて記載 資格情報との重複を避ける予定																
		医療扶助 オンライン資格確認システムへ送る健診情報（※）を作成し、連携できること	○月時点の情報にて記載																
パターン ②	機能要件等にオン資に伴う機能が存在することを記載	<ul style="list-style-type: none"> ○：自治体・ベンダーが要件定義・開発を進めるにあたって、要件の有無を把握できる △：開発を先行したいベンダーなどにとっては情報が不足 	<p style="text-align: center;">機能要件、連携要件に記載（詳細については追記しない）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <tr> <td style="width: 10%;">生活保護共通</td> <td style="width: 10%;">他システム連携</td> <td style="width: 50%;">医療扶助 オンライン資格確認システムへ送る資格情報を作成し、連携できること。</td> <td style="width: 30%;">○月時点の情報にて記載</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>医療扶助 オンライン資格確認システムへ送る医療券・調剤券情報を作成し、連携できること。</td> <td>○月時点の情報にて記載 資格情報との重複を避ける予定</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>医療扶助 オンライン資格確認システムへ送る健診情報を作成し、連携できること。</td> <td>○月時点の情報にて記載</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>医療扶助 オンライン資格確認システムより資格確認実績情報を作成し、連携できること。</td> <td>○月時点の情報にて記載</td> </tr> </table>	生活保護共通	他システム連携	医療扶助 オンライン資格確認システムへ送る資格情報を作成し、連携できること。	○月時点の情報にて記載			医療扶助 オンライン資格確認システムへ送る医療券・調剤券情報を作成し、連携できること。	○月時点の情報にて記載 資格情報との重複を避ける予定			医療扶助 オンライン資格確認システムへ送る健診情報を作成し、連携できること。	○月時点の情報にて記載			医療扶助 オンライン資格確認システムより資格確認実績情報を作成し、連携できること。	○月時点の情報にて記載
生活保護共通	他システム連携	医療扶助 オンライン資格確認システムへ送る資格情報を作成し、連携できること。	○月時点の情報にて記載																
		医療扶助 オンライン資格確認システムへ送る医療券・調剤券情報を作成し、連携できること。	○月時点の情報にて記載 資格情報との重複を避ける予定																
		医療扶助 オンライン資格確認システムへ送る健診情報を作成し、連携できること。	○月時点の情報にて記載																
		医療扶助 オンライン資格確認システムより資格確認実績情報を作成し、連携できること。	○月時点の情報にて記載																

Real Partner[®]

